



おかがき

2号

農業委員会だより

編集・発行

平成26年12月17日

岡垣町農業委員会

☎ 093-282-1211



会長就任にあたって



農業委員会
会長 田原 一男

農業委員会改選にあたり、前回に引き続き会長を務めさせていただくことになりました。

さて、皆様も報道等でご承知かと思いますが、農業委員会をめぐる状況は大変厳しく、「農業委員の定数の半減」「公選制の廃止」「意見の公表・行政庁への建議の法令からの削除」等、政府により農業委員会の改革が示され、来年の通常国会までには、農業委員会法の改正を目指すとされています。

このような状況の今こそ、農業委員会として、どのように在るべきかを考え、行動していくことが重要だと考えています。地域の農業・農村の発展に向けて、農業委員一丸となって活動してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



前列 左から ※ () 内は担当地区等
 青柳 政士 (内浦、原)・麻生 孝子 (議会推薦)・会長 田原 一男 (糠塚)・副会長 俵口 和義 (手野、新松原)・
 神屋 種義 (海老津、小局、上畑)・俵口 徹 (農協推薦)・戒能 杉雄 (吉木)
 後列 左から
 神屋 守正 (農業共済推薦)・刀根 基光 (波津、湯川)・田中 誠二 (東黒山、山田)・藤岡 満 (三吉、野間)・
 広渡 輝男 (議会推薦)・廣渡 秀雄 (元松原、西黒山)・筑紫 利英 (上、下戸切)・深田 明俊 (上高倉、高倉)

任期：平成 26 年 7 月 20 日～平成 29 年 7 月 19 日

新規就農者紹介

糠塚地区で

ハウストマト18aを経営

小滝 佳史さん (42)

農業との出会い 10年ほど前に当時生活していた関東で、無農薬有機栽培の野菜を販売する店にたまたま入り、ダイコンが一本千円で販売されているのを見ました。そのことが頭から離れず福岡に帰郷後、ハローワークで古賀市の農家を紹介してもらい、農業研修を受けました。その間、北筑前普及指導センターを通じて、いろいろな新規就農者に会って話を聞き、新規就農するなら施設園芸しかないと思いました。

岡垣町との出会い 就農地を探しているときに、福岡県農業大学校の方から産業振興課長を紹介して頂いたのがきっかけです。産業振興課や認定・志向農業者連絡会の皆さんに、非常に親身になって相談に乗って頂き、糠塚地区の空きハウスを運よく借りることができ、労働力の面から作物はトマトを選択しました。住居も町内に借りました。

地域に交わる トマトを作り始めて3年少し経ちましたが、一番良かったことは、緑農会(岡垣町の青年農業者の会)、地元消防団、そして農協トマト部会に入ったことです。トマト部会の互評会では多くの技術を習得できるし、緑農会や消防団では町内のいろいろな地域の方と知り合いになります。

これから 今年6月に結婚したので、妻と一緒に18aのハウスでトマトや春菊などを頑張ってます。農業は大変な仕事ですが、将来は30〜40aまで面積を増やしたいと思っています。



農地利用状況調査(農地パトロール)の実施!!

岡垣町農業委員会は、農地の利用状況をはじめ、利用意向調査の対象となる農地を把握するため、農地パトロールを実施していますが、農業経営者の高齢化や後継者不足に加え、不在地主も多くなりつつあることなどから、荒廃農地は年々増加傾向にあります。荒廃農地の解消や違反転用防止は、農家の皆さんと農業委員、行政が協力して取り組んでいかなければならない今後の主要な課題でもあります。

以下、パトロールの実績と計画の概要を紹介いたします。

平成25年度の実績

農地面積	944ha
遊休農地面積	134ha



遊休農地解消目標面積	2.3ha
遊休農地解消実績面積	16.8ha



農地の利用状況調査
平成25年度では町内全域を大字ごとに4つに分け、農業委員15人全員を4班に分けて12月～1月にかけて現地調査を実施しました。

平成26年度の計画

遊休農地は、中山間地域に多く存在し、農業者の高齢化に伴う離農や相続等による不在地主が増加し、利用されていない農地の耕作放棄地化が進んでいます。

町内全域を大字ごとに4つに分け、農業委員15人全員を4班に分けて12月～1月にかけて現地調査を計画しています。

農地面積	944ha
遊休農地面積	117ha



遊休農地解消目標面積	2.3ha
------------	-------

○国民年金の被保険者で年間60日以上農業に従事されている方は誰でも加入できます。
○認定農業者等一定の要件を備えた方に対し保険料の手厚い国庫助成(政策支援)があります。
※加入の申し込みやご相談は、**農業年金基金が農業委員会にお問い合せ下さい。**

充実した老後生活を送るための農業者年金に加入しませんか

※農業委員会では、農地の管理のご相談や、借り手を探すなどのお手伝いをします。

平成21年12月に農地法が改正され、相続等により農地の権利を取得した場合は農地の取得の日から10ヶ月以内にその農地が所在する農業委員会に届出が必要です。届出をしなかったり、虚偽の届出をしたりすると罰則がありますのでご注意ください。

農地を相続等で取得した時の農業委員会への届出

第四十九回 農業祭

恒例の遠賀・中間地区農業祭が「遠賀・中間で育む「食づくり・人づくり」をテーマに掲げ、12月8日にポートレース芦屋で開催されました。

記念式典では、収穫感謝祭・共進会表彰式が行われました。

町内の表彰関係者は次の方々でした。受賞おめでとうございます。

「最優秀賞」



辻 政幸氏 (野間) (福岡県知事賞)

優秀賞

吉田 隆幸氏 (東黒山) (温州ミカン)

廣渡 正秀氏 (元松原) (イチゴ)

優良賞

松本 哲夫氏 (海老津) (温州ミカン)

小野 秀敏氏 (東黒山) (温州ミカン)

生力 實裕氏 (手野) (キク)



野田嘉之吉氏 (糠塚) (農業祭実行委員長賞)

この農業祭は生産者と消費者との連携を深め、共に手を携えて地域農業の進展に大きな役割を果たしています。これからも多くの地域住民が参加する機会になることを期待します。

消費者とのふれあい

農業委員会では、町民のみなさんに町内の農業の実態を知っていただくために、4月は「岡垣町農業巡りツアー」を、10月には「枝豆狩り体験」を実施しました。

農業巡りツアーは、町内小中学校のPTA役員を対象に、町内農家の各圃場とJA北九カントリーエレベーターを視察し、それぞれ詳しい説明を受けました。

枝豆狩り体験では、約三百名の参加があり、好天のもと盛況のうちに終了しました。参加者のみなさんからは、ありがとうございました。来年も楽しみにしていただきますとの言葉もいただきました。なお、収益金の一部を被災地に寄贈します。

農業委員会で

は今後も生産者と消費者の交流の輪を広げる取り組みを行っていきます。



親子で枝豆狩りを楽しむ参加者

編集後記

麻生 孝子

第2号いかがでしたか？私事ですが、委員になりましたの頃は農業委員会とは何ぞやと分からないことばかりで、他の委員の方にはずいぶん迷惑をかけたと思います。今でもあしでまといになっっているかもしれませんが、それでも二期目を仰せつかり、私なりに地域の農業者のお役に立てればと思っています。

発行責任者

会長 田原 一男

編集委員会

委員長	俵口 和義
副委員長	神屋 種義
委員	麻生 孝子
委員	刀根 基光
委員	広渡 輝男
委員	深田 明俊

農業委員会からのお知らせ

農地の売買・貸借・転用の申請手続きは農業委員会へ

申請締切日は毎月20日です

Room-2020-12-11